

2020 年度ゼミ (3003 演習 2A/3004 演習 2B) 要覧

担当者名	野口久美子
演習テーマ	アメリカの歴史と社会
校外実習	1、実施しない 2、実施 (実施時期: 2018 年 8 月下旬~9 月上旬)
メール・アドレス	noguchik@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	前期: 木曜日 2 限、後期: 金曜日 3 限 (その他の時間を希望する場合はメールにて要予約)
2021 年度に開講 しない可能性 (在外研究・特別研究)	あり (在外研究)
授業概要	講読では「アメリカの歴史と社会」を考えるために重要なテーマを取り上げ、その歴史的、現代的意味について考える。ループワークでは個別テーマについて先行研究の整理と資料収集、報告と講読文献について議論を行う。個人報告では個人研究調査 (卒論調査・執筆計画) を報告する。
学習目標	アメリカ研究に関する基本的問題と、歴史、社会、文化を学ぶための「批判理論」を理解する。卒業論文を書くための論理的な思考方法と調査方法、説得力のあるプレゼンテーション方法を身に付ける。4 年次に向けての卒論の研究計画書を作成する。
授業計画	<2A> 1 ガイダンス 2-7 学術論文講読 (毎週、異なる学術論文を指定する) 8-9 グループ報告 テーマ別の調査と報告 10-14 個人報告 個人研究調査の途中経過報告 15 全体のまとめ <2B> 1 ガイダンス 2-7 講読と議論 『ヘイトの時代のアメリカ史』 8-9 グループ報告 テーマ別の調査と報告 10-14 個人報告 個人研究調査の途中経過報告 15 全体のまとめ
予習	指定するテキストや卒論報告者の原稿を読み、レジюмеと 500 字の要約を作成する。質疑応答やディスカッションに備える。
復習	指摘テキストを再読した上でゼミ内での議論を確認し、各自の卒論研究に反映させる。

授業に関する注意事項	<p>毎回指定するテキストや原稿をしっかりと読んでくること。</p> <p>校外実習参加者は、別途、事前学習ゼミを実施する。</p> <p>学内での各種セミナーへの参加、サブゼミの開催、グループ報告準備など、演習時間外の活動も推奨する。</p>
教科書	<p>肥後本芳男他訳『11の国のアメリカ史-分断と相克の400年』（岩波書店、2017年）兼子歩他『「ヘイト」の時代のアメリカ史-人種・民族・国籍を考える-』（彩流社、2015年）</p>
参考書	<p>野口久美子『インディアンとカジノ：アメリカの光と影』（ちくま新書、2019年）深山直子他編『先住民からみる現代世界—わたしたちの〈あたりまえ〉に挑む』（昭和堂、2018年）〈校外実習準備用〉</p>
成績評価の基準	<p>ゼミへの積極的な参加（40%）報告（30%）レポート課題（30%）</p>
関連 URL	
備考	<p>「アメリカの文化と社会」を同時履修すること。</p> <p>「異文化コミュニケーション」を履修済みであることが望ましい。未履修の場合には同時履修をすること。</p> <p>校外実習のための事前学習に参加できること（火曜日お昼休み/8月上旬）</p>